



フोटロジック方式・
クォーツシンセサイザー。
光が受信周波数を指令、
同調精度を一段と高めました。

●水晶振動子でつくる基準周波数とローカル発信周波数を分周したものを位相比較して、ローカル発振周波数をロックするクォーツシンセサイザー方式。温度や湿度によるドリフトの発生がなく、最良の受信状態を保持し続けます●目盛板と一体となっているコードパターンのピットに

Magni-Wide Range コアレスコンセサイザー

F-007

FM専用チューナー ¥95,000

光を当てて、それをフォトランジスターで読みとり、ローカル発振周波数を指令するフोटロジック方式を採用。目盛ずれや目盛誤差のない高い同調精度が得られます。また、ダイヤルチューニングの採用で、RF増幅部にはQ(選択度特性)が高くとれるバリコンを使用し、妨害排除能力も向上。

●バリキャップの受け持ち帯域を2つに分けることにより、高SN比を確保、IF部や検波回路とあいまって、ステレオでは81dB、モノラルでは84dBを得ています●検波効率、SN比をともに6dBアップしたP.B.L.ディテクターをIF部のWIDE、NARROWともに採用。20~15,000Hzの全帯域にわたって低ひずみ率化を実現。●高域の音質とセパレーションを向上させたクリーンパイロットシステムを採用。●パイロット信号オートキャンセル回路を採用●WIDE、NARROWが選べるIFバンド切換え●アンテナ入力を直読のシグナルメーター●RECレベルチェック。

主な仕様 ●SN比50dB感度/2.8 μ V新IHF14.1dBf(モノ)、35 μ V新IHF36dBf(ステレオ) ●実用感度/1.8 μ V新IHF10.3dBf ●SN比(80dBf入力時)81dB(ステレオ) ●高調波歪率(1kHz)/WIDE:0.05%(ステレオ)、NARROW:0.15%(ステレオ) ●実効選択度/WIDE:35dB(400kHz)、NARROW:70dB(300kHz) ●ステレオセパレーション(1kHz)/WIDE:55dB、NARROW:50dB ●周波数特性/20Hz~15kHz ± 0.5 dB ●イメージ妨害比/120dB [その他] ●外形寸法・重量/420(W)×155(H)×376(D)mm・9kg ●保証書付